★URL:http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp/★　　徳島大学　全学共通教育センター

週刊 学びのコミュニティー

第 26 号

平成 21 年 9 月 30 日発行

【報告】 7 月 31 日（金）4 号館 304 教室にて、
"1st International Conference in Higher Education and Lifelong Learning"
（第 1 回　高等教育と生涯学習に関する国際カンファレンス）を開催しました。

プログラム

＊Opening　大橋　眞（Japan, 総合科学部教授）

＊Session Ⅰ　Recent Situation of the Higher Education and Lifelong Learning

1. 斉藤　隆仁（Japan，総合科学部准教授）『地域社会人を活用した教養教育』
2. 李　秉埈（Korea，釜山大学教授）『大学と地域社会の共同プログラム』
3. 劉　潔（China，青島理工大学講師）『中国における生涯学習の現状について』
4. 中篠　信義（Japan，放送大学センター長）『放送大学における生涯学習と自己実現』

＊Café Break

5. 福田　スティーブ　利久助教（Japan，全学共通教育センター助教）
『Life-Long Learning　&　Higher Education　In Japanese University』
6. 橋本　直実（Japan，総合科学部 4 年）
『Possibility of Life-long Learning in the University of Tokushima』
7. 黒田　宙見（Japan，総合科学部 2 年）『学生ワーキングについて』
8. 冨士原　大樹（Japan，総合科学部 1 年）『共創型授業で学んだこと』
9. 井口　宏子（Japan，社会人）『草景盆栽～草花が小さな鉢で出会う森づくり～』
10. 岡　里美（Japan，社会人）『高齢者生涯学習の必要性－共創型学習体験を体験して－』

＊Session Ⅱ　Round Table（学生支援室にて）

このカンファレンスに、学生 8 名、社会人 11 名、大学関係者 17 名、合わせて 36 名の方が参加してくださいました。李教授、スティーブ先生のほか、学生の橋本さん、社会人の岡さんも英語でのスピーチに挑戦。質問タイムにも英語が飛び交い、今までになく国際的な雰囲気となりました。今回、初めての試みで 3 つの国の代表が集い、ディスカッションを行いました。互いの文化について理解を深め、国境の壁を越えて共に学び合うことができたら、それはどんなにか大きな学びとなることでしょう。今後も日常的な交流を続けていくことが望まれます。

生涯学習については、国によってシステムの違いこそあれ、子どもから高齢者まで、地域に学ぶ、地域で学ぶことが不可欠であると感

じられました。

社会人からは、自らの体験をもとに、生涯学び続ける必要性、学ぶことの楽しさが生き生きとした口調で語られました。また、共創型学習を実際に体験することにより、これまで身に付けた知識や経験に頼り過ぎて、思慮深さに欠けてしまっていた自分に気づいた、という貴重なお話を聞かせてくださいました。一方、学生からは、社会人と共に学び、違う価値観に触れることは刺激となって、将来についても深く考えるきっかけになったという体験談をあげてくれました。世代、立場、年齢を超えて、学び合う意義をここに感じることができたのではないかと思います。今後ますます生涯学習社会へと進んでいく中で、大学が地域の一員としてできることはなんでしょうか。この取組を通して、みなさんと考え続けていきたいと思います。

参加者はそれぞれの発表に熱心に耳を傾け、質問をタイムには、白熱した議論に発展するなど、学ぶことの意義について考えるいい機会になったのではないかと思います。

休憩時間には、学生ー社会人ー教員の枠を、また年齢を超えて、会話が弾んでいました。

Café Break

実用健康学
～手当てとそのこころ～

東洋医学の視点から学ぶ、古くて新しい健康のカタチ

光永　雅子特任助教による“学びのコミュニティー”として、**『実用健康学～手当てとそのこころ～』**を開講します。

日時：**隔週木曜日（全 10 回　初回 10/8）14:30～15:30 頃**

場所：4 号館 1 階　**学生支援室**

あなたにとって、健康とはなんでしょう。
健康を考えるときに、欠かせない“手当て”という考え方。
実用健康学では
自分にあった健康に出会えるための、いろいろな“手当て”を用意して、みなさんをお待ちしています。
どなたでも参加できますので、お気軽にどうぞ。

10 回すべてでも、
興味のあるテーマを
選んでの参加も OK です

＊質問・問い合わせは学生支援室　光永まで（656-7205）

～編集後記～

いよいよ明日から後期の授業が始まります。この取組における社会人ボランティアの授業参画も 3 度目を迎えることとなりました。新しいメンバーも加わり、より活発な交流が期待されます。この紙面上では、さまざまな活動の報告、また告知を行っていきます。それらの情報を参考にして頂くと共に、それぞれにとってよき学びとなるよう、この「週刊　学びのコミュニティー」作成を通して取組を見つめ、みなさまに還元できるよう努めていきたいと思っています。（境）